

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

毎日午前 2 時には工場に入り従業員に技術指導 平 昭七 (羽咋丸善社長)

1. 「企業城下町」と言えば、大企業の周辺に下請け中小企業が集積した地域を指す。しかし逆に、世界に通用する技術を持つ中小企業の下に大企業が次々と工場を建設している地域がある。大企業を引き寄せているのは、金属鍛造の羽咋丸善 (石川県羽咋市) だ。大型建設機械の旋回台座や、風力発電機の中にあるベアリング (軸受け) の内輪や外輪など大型鍛造品の製造で知られる。
2. 羽咋丸善は、1968 年に平昭七会長が創業。19 歳の時にトランク 1 つで上京して鍛造工見習いになった。長い休業期間を経て独立。郷里の羽咋市で鍛造会社を設立した。鋼材価格が高騰している現在、羽咋丸善の技術は、建機や軸受けメーカーにとって、海外メーカーとの競争に勝つためには不可欠な存在だ。そのため受注が急増し、売上高 (2008 年 5 月期) は、135 億円と前年より 38% 増えた。
3. 羽咋丸善の技術力は、平会長の情熱と集中力から生まれた。毎日午前 2 時には工場に入り、従業員に技術指導をする。従業員の待遇も創業時から独特だ。毎年、高卒を中心に 10~20 人の入社希望者が来ると全員採用して育てる。平会長の口癖は「現場から教わる」こと。周囲には「鉄が語りかけてくる」と話す。
(参考:「日経ビジネス」2008 年 7 月 7 日号)

ワンポイント経営アドバイス

独身寮の復活で一体感

1. 日本的経営における人材教育の美風が見直されるなかで、社員寮を復活させる大手企業が目立つ。三井物産は 2006 年から独身寮を復活させ、今春は、大卒・大学院卒の新入社員約 130 人のほぼ全員が都内や千葉県の独身寮に入寮した。以前は入社 3 年目までを利用者として想定していたが、これを延長。同期の社員だけでなく、年輩とも「同じ釜の飯」を食べて集団で生活することの無形の価値を高く評価したのだ。
2. 強い個人を前提とした欧米型の成果主義が揺らぎ、協働や一体感といった組織力の価値が再認識されている。寮生活は若者が互いに支え合い、健全に成長していくための格好の場なのだ。
(参考:「野村週報」:2008 年 9 月 15 日号)

経営者のための社会学

サラリーマンの昼食代 (570 円)

1. 景気の足取りが心もとないものになる中、サラリーマンの小遣いにも影響が出てきた。毎年実施している「サラリーマンの小遣い調査」(2008 年 4 月調査)によると、2005 年から回復傾向にあった平均小遣い月額の前年より 2500 円少ない 4 万 6300 円と、4 年ぶりで減少に転じた。
2. 支出抑制は「小遣い」のさまざまな使途に及んでおり、「昼食代」も例外ではない。2001 年に 710 円だった 1 日の昼食代は、2004 年~2006 年は 650 円前後に。さらに 2007 年に 600 円を割り込み、今年 570 円にまで低下した。物価上昇の中で昼食代抑制は、食事の質の低下につながる。
(参考:「週刊東洋経済」2008 年 6 月 21 日号)

古典に学ぶ

心の悟りは

「目で見るものは口能く之を言う。耳で聞くものは能く之を言う。心で得るものに至りては則ち口言う能わず。即し能く言うとも一端のみ」

(訳) 目で見、耳で聞くものは、口では説明することができるが、心で悟ったものは言うことはできない。言ってもほんの一部だけである。
(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)